

国道 203 号
(佐賀唐津道路)

多久佐賀道路 (I 期)

平成 23 年 11 月 14 日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 事業の概要	道路-3-1
(1) 佐賀唐津道路の概要及び整備効果	道路-3-1
(2) 多久佐賀道路（I期）の概要	道路-3-6
2. 事業の必要性	道路-3-7
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-3-7
(2) 事業の効果・必要性	道路-3-12
(3) 事業の投資効果	道路-3-17
(4) 事業の進捗状況	道路-3-18
3. 事業の進捗の見込み	道路-3-20
(1) 今後の事業の見通し	道路-3-20
(2) 地域の協力体制	道路-3-20
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-3-21
4. コスト縮減や代替案立案等	道路-3-22
5. 対応方針（原案）	道路-3-22
巻末資料	道路-3-23

1. 事業の概要

(1) 佐賀唐津道路の概要及び整備効果

①事業の概要

国道 203 号は、唐津市から多久市・小城市を經由して佐賀市に至る、産業・経済・文化を支える延長 59.9 km の重要な幹線道路である。しかしながら、途中区間では脊振山系の狭い谷間を通るため、冬季の道路凍結や急カーブの連続等が問題となっている。

一方、佐賀県は『県内主要都市間 55 分圏構想』の実現を目指しており、佐賀唐津道路は西九州自動車道や有明海沿岸道路等と連結し幹線ネットワークを形成、県都佐賀市と県内第 2 の都市である唐津市を連結するなど、重要な役割を担う道路である。

以上のことより、佐賀唐津道路は、国道 203 号の代替路、幹線ネットワークの一端を担う道路として位置付けられる。

現在の佐賀唐津道路の整備状況は、全体の約 34% (約 14 km) が供用中であり、全体の約 18% (約 7 km) が事業中となっている。

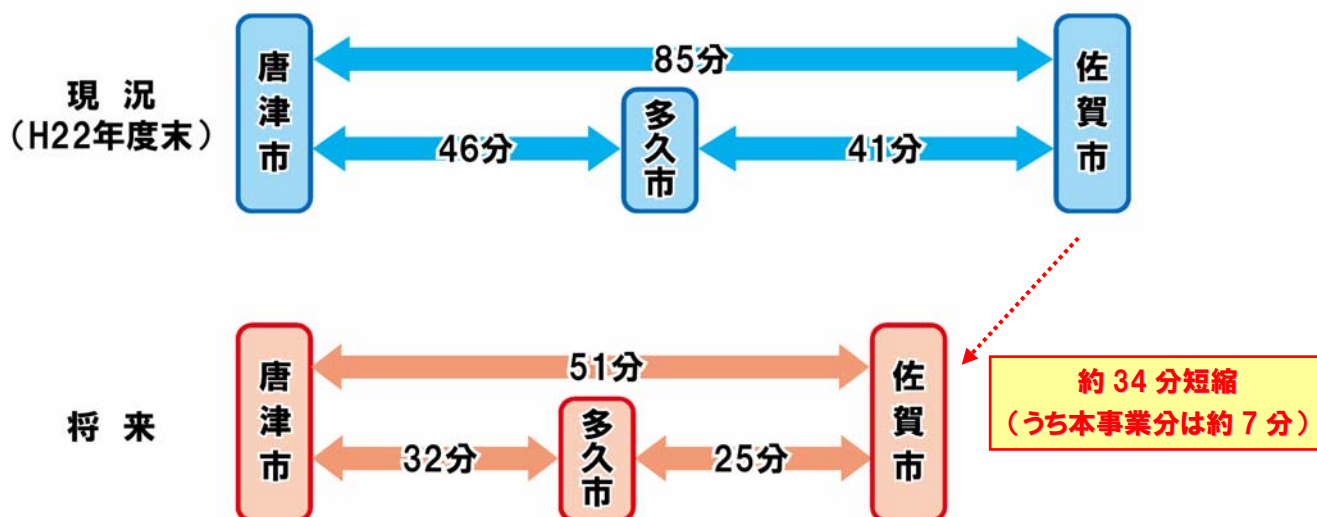


▲佐賀唐津道路路網図

②事業の効果

効果1：地域間の交流連携の支援

- 佐賀唐津道路の起点である唐津市は県下第2の人口を誇る都市、終点である佐賀市は県都であり、両都市は県北部、県南部の中心都市として機能している。
- 佐賀唐津道路の整備により、唐津市から佐賀市間の所要時間は現況（H22 年度末）の 85 分から 51 分へと 34 分短縮し、地域間交流の活性化を支援する。



※市役所間の所要時間

※現況は厳木バイパスの既供用区間、厳木多久有料道路、東多久バイパスを利用

※将来は佐賀唐津道路全線を利用（未事業分も含む）

▲佐賀唐津道路沿線都市間の所要時間の変化

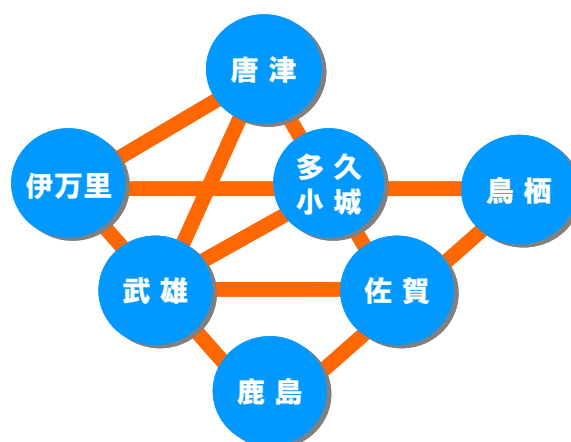
資料：（H22）道路交通センサス
（H42）推計結果

▼県内主要都市間 55 分圏構想

佐賀県は、県都佐賀市の人口が約 17 万人※で、唐津市、鳥栖市、多久市等、人口 10 万人未満の小都市で点在する分散型の県土を形成しています。県内における 7 つの主要都市を結ぶ走行性の高い広域幹線ネットワークを整備することにより、主要都市間の連携を強化し、交流の活性化を図ります。

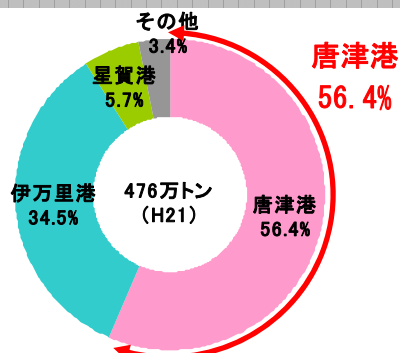
※平成 16 年 12 月時点での人口データ

資料：佐賀県中長期道路整備計画（平成 16 年 12 月）



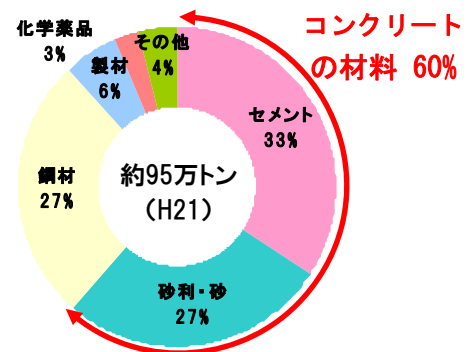
効果2：物流の効率化支援

- 唐津港では、佐賀県内における取扱貨物量のシェアが増加しており、県内シェア第1位である。
- また、唐津港における移入貨物の品種別の構成では、コンクリートの材料であるセメントや砂利・砂が全体の6割を占める。
- 唐津港から、国道203号経由で、セメント等を佐賀市方面のコンクリート工場へ輸送している。
- 当該道路の整備により、輸送時間が短縮することで、輸送コストの縮減などの物流効率化が図られる。



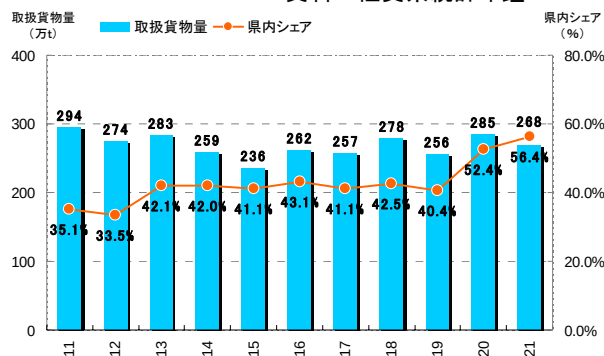
▲佐賀県内港湾別取扱貨物量 (H21)

資料：佐賀県統計年鑑



▲唐津港移入貨物品種の構成 (H21)

資料：港湾統計

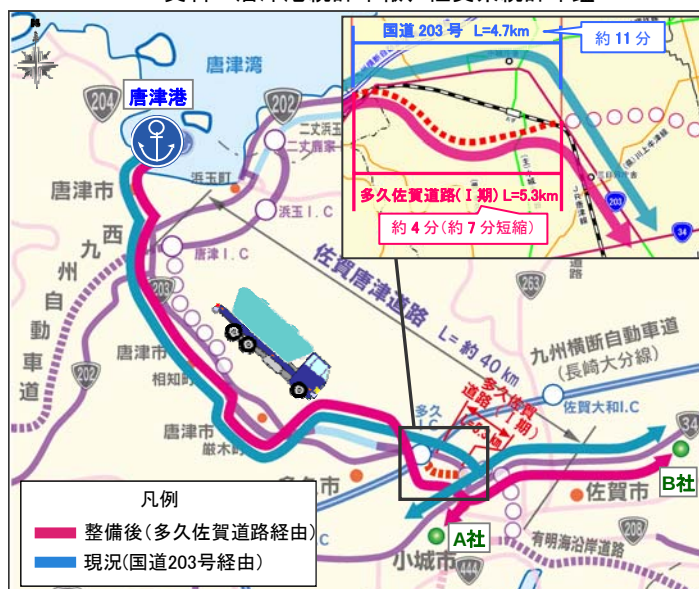


▲唐津港の取扱貨物量と佐賀県内におけるシェア

資料：唐津港統計年報、佐賀県統計年鑑

●地域の声

- ・多久佐賀道路が完成すると無料である上、移動時間が短くなるため、多久佐賀道路を利用します。(A社)
- ・毎日203号を經由して、佐賀市の工場にコンクリートの材料を輸送しています。当該区間は片側1車線で、歩道が狭く、歩行者等がいる場合には、危険なため、多久佐賀道路の整備を期待しています。(B社)



▲コンクリート材料の輸送ルート

道路-3-3

国道203号における砂の輸送状況

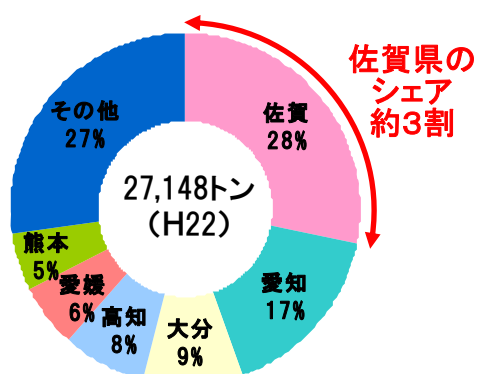


国道203号におけるセメントの輸送状況



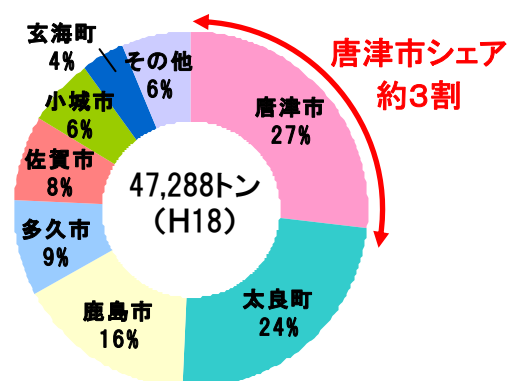
効果2: 物流の効率化支援

- 佐賀県は「ハウスみかん」の出荷量が全国第1位であり、また、唐津市は「みかん」の県内シェアの約3割を占め、県内第1位を誇る。
- このハウスみかんを佐賀市内の青果市場に出荷する主要な物流ルートは、唐津市から国道203号を経由するルートとなっている。
- 佐賀唐津道路の整備により、唐津市から佐賀市内までの渋滞が減り、移動時間が短縮することで、輸送コストの縮減や鮮度向上などの品質を確保し、市場拡大など農業の活性化が図られる。



▲ハウスみかんの出荷量 (H22)

資料：農林水産統計データ 作況調査（果樹）
※その他については、統計数値を公表していないものを含む。



▲佐賀県内のみかんの出荷量 (H18)

資料：農林水産統計データ 作況調査（果樹）



▲ハウスみかんの輸送ルート

■ ヒヤリング調査 (唐津市)

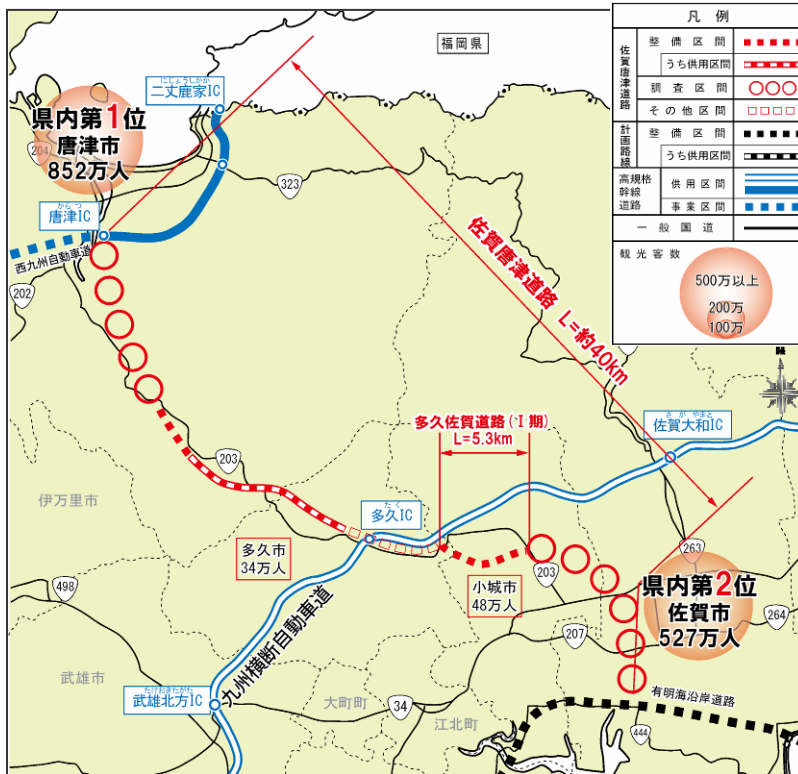
唐津市はハウスみかんの出荷量が県内で第1位であり、佐賀市方面にも出荷しています。佐賀市方面の利用ルートは、国道203号の事業区間を通行し、佐賀市内へ出荷しております。

多久佐賀道路が完成すると、佐賀市内までの渋滞が減ることにより、移動時間が短縮することを期待しております。



効果3：観光活性化の支援

- 佐賀唐津道路沿線の唐津市、佐賀市はそれぞれ県内第1位、2位の観光客数を誇り、県外からも多くの観光客が訪れるなど、主要な観光拠点となっている。
- 佐賀唐津道路の整備により、主要観光拠点の移動時間の短縮や走行性が改善され、沿線の周遊性向上が期待される。



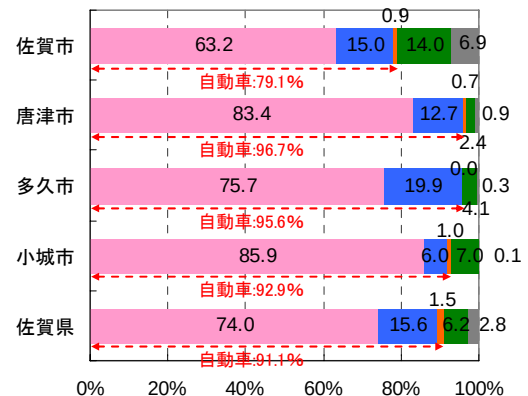
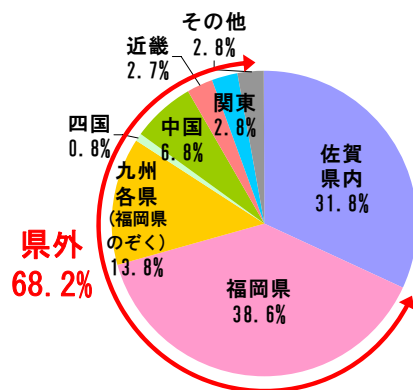
(写真) 唐津くんち
出典：(社) 佐賀県観光連盟提供



唐津市～佐賀市間のバスツアーとして、同時期に開催される「唐津くんち(唐津市)」と「佐賀国際バルーンフェスタ(佐賀市)」を巡るツアーを販売している旅行会社が複数存在。

(写真) 佐賀国際バルーンフェスタ
出典：佐賀バルーンフェスタ組織委員会

▲観光客数の分布状況 (H21) 資料：佐賀県観光動態調査



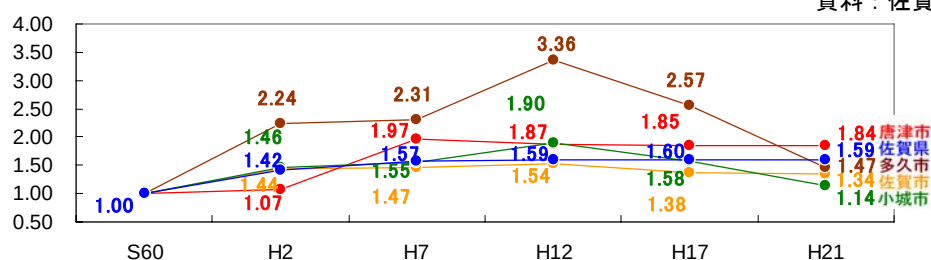
▲唐津市の出発地別観光客の割合 (H21)

資料：佐賀県観光動態調査

▲観光客の交通手段 (H21)

資料：佐賀県観光動態調査

伸び (S60=1.00)



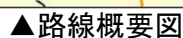
▲観光客数の伸び率

道路-3-5

資料：佐賀県観光動態調査

①概要

さらに、当該地域の唯一の幹線道路となっている国道 203 号の交通混雑の緩和にも寄与する。



事業名	国道 203 号（佐賀唐津道路）多久佐賀道路（Ⅰ期）
起 終 点	（自） さがけん た く し ひがし た く まち おお あ ぎ べ ん 佐賀県多久市東多久町大字別府
	（至） さがけん お ぎ し み か づ き ち ょ う ち ょ う か ん だ 佐賀県小城市三日月町長神田
延 長	L=5.3km
車 線 数	4 車線
幅 員	20.5m
道路規格	第 1 種第 3 級
設計速度	80km/h
計画交通量 (H42)	① 21,300 台/日 ②21,300 台/日 ③15,500 台/日

Figure 1: Plan view of the road layout. The diagram shows a 20.5m wide road with a central 2.0m gap. Dimensions from left to right: 1.75m (left edge to first car), 7.0m (between first car and first truck), 0.5m (between first truck and gap), 2.0m (gap), 0.5m (between gap and second truck), 7.0m (between second truck and second car), and 1.75m (between second car and right edge).

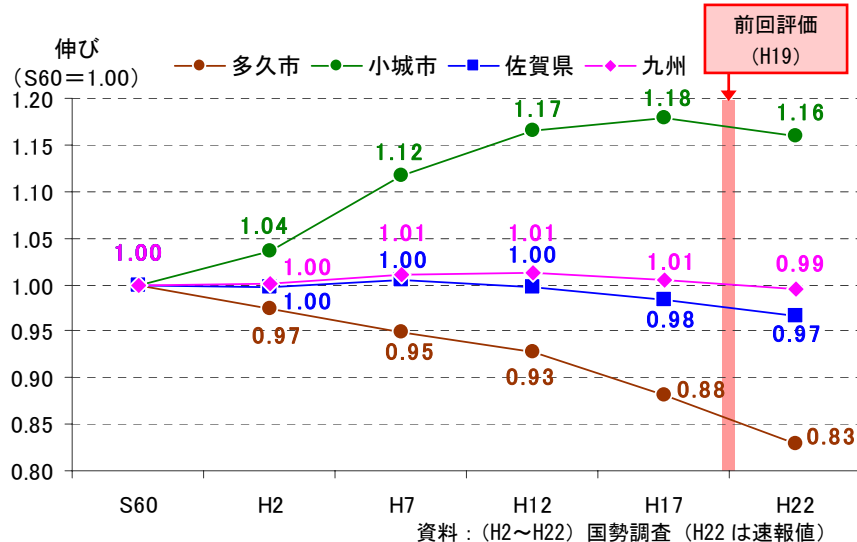
2. 事業の必要性

(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

①人口動向

人口をみると多久佐賀道路（Ⅰ期）沿線の小城市では人口が増加傾向、多久市では人口が減少傾向にある。

また、高齢化率は全ての地域で増加傾向にある。特に、多久市では高齢化率が28%と高齢化の進展が著しく、県平均を上回っている。

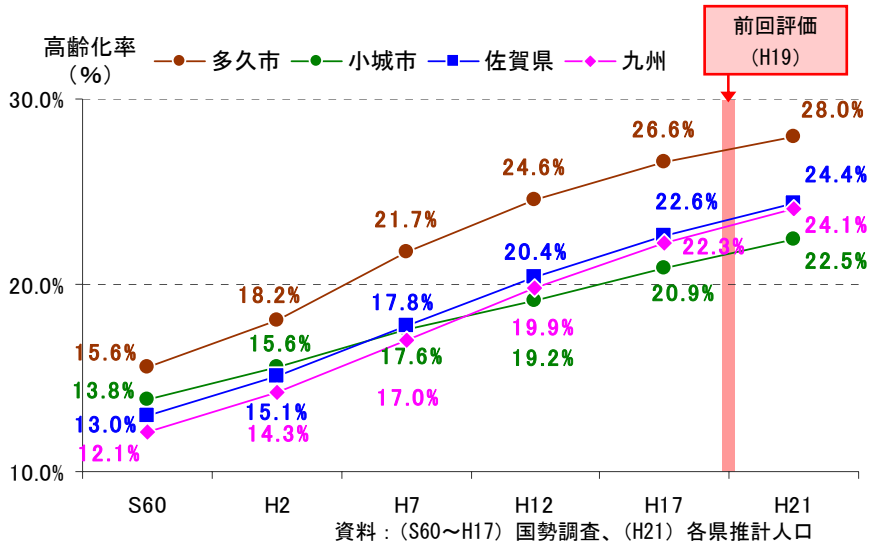


▲人口の推移

▽人口

	S60	H2	H7	H12	H17	H22
多久市	25,831	25,162	24,507	23,949	22,739	21,412
小城市	38,915	40,283	43,491	45,375	45,852	45,153
佐賀県	880,013	877,851	884,316	876,654	866,369	849,709
九州	13,276,014	13,295,859	13,423,785	13,445,561	13,352,934	13,204,474

資料：(H2～H22) 国勢調査 (H22 は速報値)



▲高齢化率の推移

▽人口及び高齢者人口

	人口						高齢者人口					
	S60	H2	H7	H12	H17	H21	S60	H2	H7	H12	H17	H21
多久市	25,831	25,162	24,507	23,949	22,739	21,707	4,024	4,567	5,329	5,887	6,052	6,072
小城市	38,915	40,283	43,491	45,375	45,852	45,283	5,384	6,288	7,670	8,715	9,605	10,167
佐賀県	880,013	877,851	884,316	876,654	866,369	852,825	114,353	132,972	157,329	179,132	196,108	207,755
九州	13,276,014	13,295,859	13,423,785	13,445,561	13,352,934	13,173,250	1,611,172	1,900,733	2,287,317	2,672,207	2,977,920	3,177,018

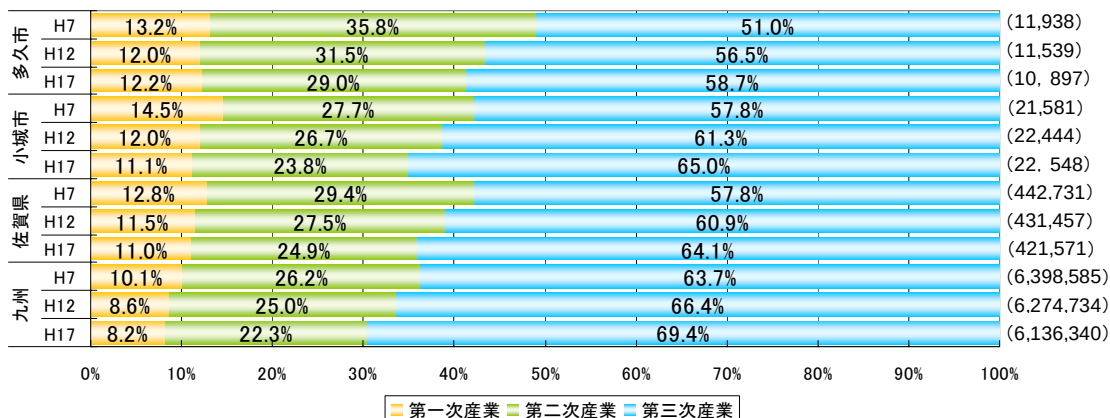
資料：(S60～H17) 国勢調査、(H21) 各県推計人口

※H22 国勢調査（高齢者数人口）は平成24年10月以降順次公表予定のため、S60～H21で整理した

②産業動向

1) 産業別就業人口

産業別就業人口構成をみると、多久佐賀道路（Ⅰ期）沿線の多久市、小城市では、第一次産業の割合が佐賀県を上回っているが、就業人口は農家の減少などにより年々減少傾向にある。



※()内数値は分類不能を除く就業人口(人)

資料: 国勢調査 (H7、H12、H17)

※H22 国勢調査（産業別就業人口）は平成 24 年 4 月以降公表予定のため、H7～H17 で整理した

▲産業別就業人口構成

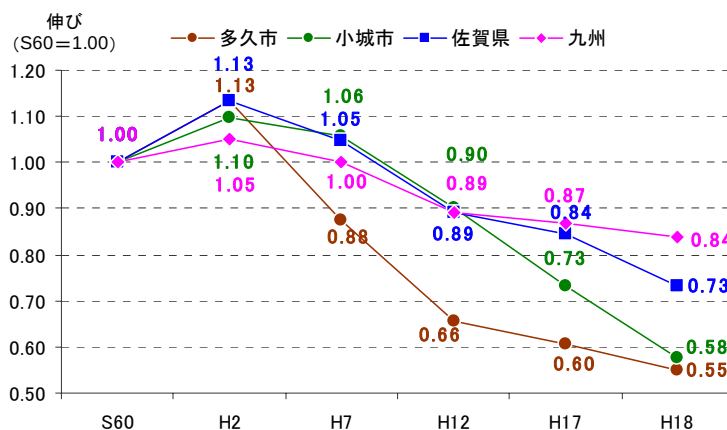
▽産業別就業人口構成

	年	第一次産業	第二次産業	第三次産業	合計
多久市	H7	1,576	4,274	6,088	11,938
	H12	1,383	3,635	6,521	11,539
	H17	1,332	3,164	6,401	10,897
小城市	H7	3,131	5,976	12,474	21,581
	H12	2,704	5,993	13,747	22,444
	H17	2,513	5,369	14,666	22,548
佐賀県	H7	56,788	129,952	255,991	442,731
	H12	49,601	118,528	262,407	430,536
	H17	46,533	104,795	270,243	421,571
九州	H7	646,610	1,678,414	4,073,561	6,398,585
	H12	540,123	1,569,409	4,165,202	6,274,734
	H17	505,654	1,369,620	4,261,066	6,136,340

2) 農業の動向

農業産出額をみると、多久市、小城市ともに価格減少や離農などに伴い、年々減少しており、多久市、小城市の減少幅は佐賀県に比べると大きい。

資料: 国勢調査 (H7、H12、H17)



▲農業産出額の伸び

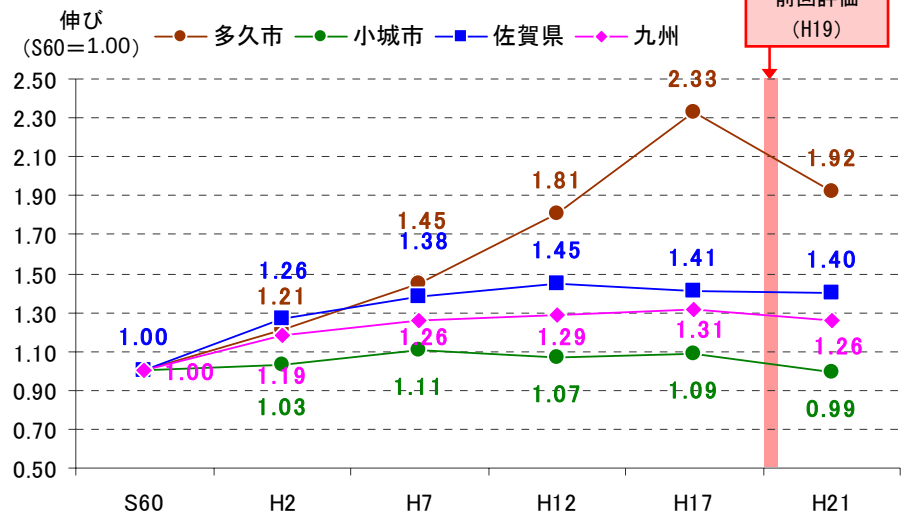
▽農業産出額

	S60	H2	H7	H12	H17	H18
多久市	57.7	65.4	50.5	37.8	34.9	31.8
小城市	101.4	111.3	107.1	91.3	74.1	58.6
佐賀県	1,630	1,847	1,708	1,455	1,376	1,194
九州	19,342	20,341	19,372	17,266	16,808	16,215

※H19 年度以降は都道府県別のデータのみのため、H18 で整理した

3) 製造業の動向

製造品出荷額については佐賀県ではS60年からH12年にかけて増加したが、それ以降やや減少している。多久市の製造品出荷額はS60年からH17年にかけて大きく増加したが、前回評価時（H19）以降は減少している。小城市ではH7年をピークに減少傾向にある。しかし、多久佐賀道路（Ⅰ期）の周辺を見ると、過去5年間（H18～H22年度）とH24年度（予定）に企業の進出が見られ、今後、製造業分野においても成長が期待される。



▲製造品出荷額の伸び 資料:工業統計調査

▽製造品出荷額の伸び (億円)

	S60	H2	H7	H12	H17	H21
多久市	267.8	324.8	387.8	483.8	623.5	515.5
小城市	278.4	287.5	308.9	298.7	303.0	275.5
佐賀県	11,106.3	14,036.8	15,372.1	16,109.1	15,615.7	15,535.0
九州	153,661.1	182,369.6	193,275.0	197,540.7	201,981.0	193,471.1

資料:工業統計調査



資料:小城市役所、多久市役所資料

▲多久佐賀道路（Ⅰ期）周辺の進出企業（過去5年間（H18～H22年度））、今後の進出予定

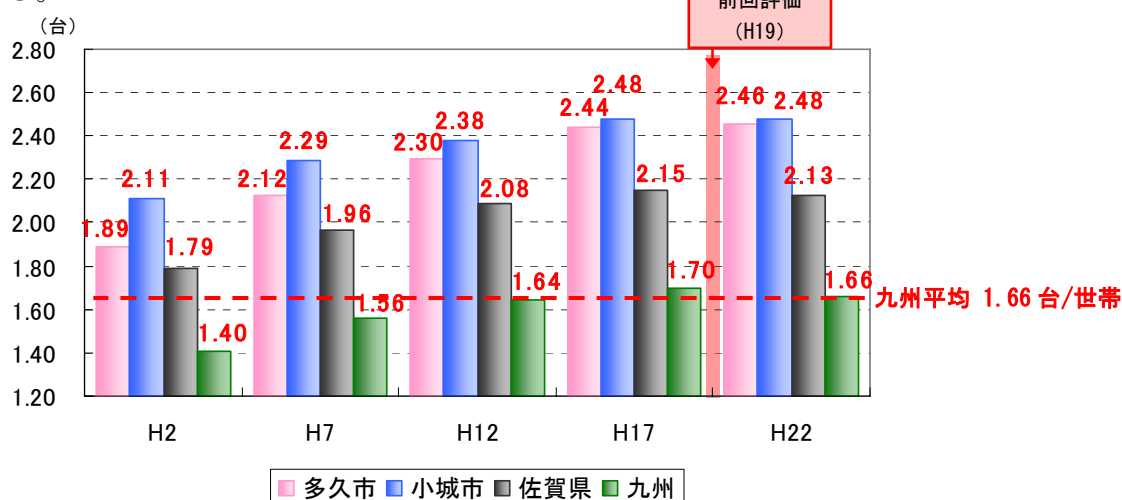
③交通動向

1) 自動車利用の動向

多久市の1世帯あたりの自動車保有台数は増加傾向にあり、前回評価時(H19)以降も増加し、H22年は2.46台/世帯となっている。一方、小城市は増加していたものの、前回評価時(H19)以降は2.48台/世帯で横ばいである。

多久市、小城市の1世帯あたりの自動車保有台数は、依然として九州平均(1.66台/世帯)を上回っており、自動車への依存が高い地域であるといえる。

また、H12年の通勤通学時における自家用車利用割合についても、多久市(約76%)、小城市(約75%)は九州平均(約57%)より高い状況にある。



▲1世帯あたり自動車保有台数の推移

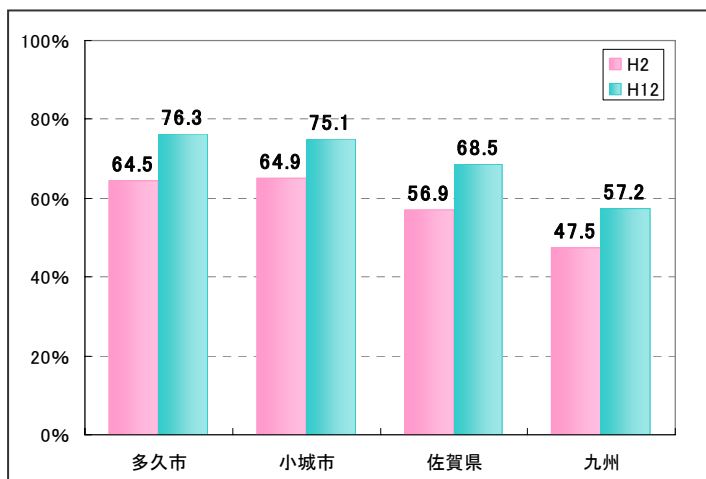
資料：H2、H7：九州の自動車保有台数統計資料、H12～H22：市区町村別自動車保有車両数、市区町村別軽自動車車両数
国勢調査(S60～H22)※H22は速報値

▽自動車保有台数及び世帯数

単位：台

	自動車保有台数					世帯数				
	H2	H7	H12	H17	H22	H2	H7	H12	H17	H22
多久市	13,278	15,146	16,420	17,464	17,433	7,033	7,134	7,305	7,146	7,101
小城市	22,333	27,189	31,327	34,303	35,397	10,581	11,894	13,185	13,834	14,286
佐賀県	447,240	525,015	578,794	614,343	627,403	250,178	267,230	277,606	286,239	294,854
九州	6,185,927	7,372,219	8,184,782	8,693,505	8,835,964	4,408,132	4,726,491	4,976,019	5,124,170	5,323,843

資料：H2、H7：九州の自動車保有台数統計資料、H12～H22：市区町村別自動車保有車両数、市区町村別軽自動車車両数
国勢調査(S60～H22)※H22は速報値



▲通勤通学時における自家用車利用割合の変化

資料：国勢調査(H2、H12)

▽通勤通学時の交通手段

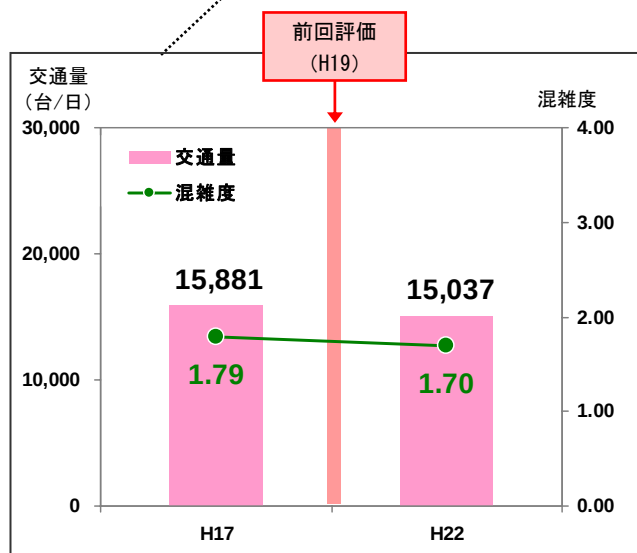
	H2 (人)				H12 (人)			
	多久市	小城市	佐賀県	九州	多久市	小城市	佐賀県	九州
徒歩だけ	1,034	1,006	34,055	684,600	676	834	25,094	533,744
JR(バスを除く)	904	879	20,746	321,054	842	1,252	24,003	584,152
JR以外の鉄道・電車	7	21	3,239	269,919	228	366	11,683	567,543
乗合バス	520	692	18,770	689,802	132	130	5,286	68,898
勤め先・学校のバス	239	151	8,859	105,406	7,996	15,340	272,574	3,523,199
自家用車	6,486	10,397	209,822	2,706,283	16	21	1,298	30,128
ハイヤー・タクシー	7	11	1,556	36,613	182	453	12,281	344,440
オートバイ	377	772	22,293	451,690	770	2,744	60,890	840,300
自転車	934	2,666	65,415	795,396	145	299	5,323	110,183
その他	60	161	3,750	93,783	10,485	20,438	398,069	6,154,771
総数	10,058	16,011	368,760	5,697,209				

※通勤通学時の利用交通手段は10年毎の調査であるため、H17年はない。また、H22国勢調査(従業地・通学地集計結果)はH24.6月公表予定のため、H2、H12の国勢調査で整理した。

資料：国勢調査(H2、H12)

2) 交通動向

前回評価時（H19）以降は、当該事業に並行する国道 203 号（小城市小城町北小路）の交通量は減少しているが、混雑度は 1.70 であり交通混雑が著しい。



▲ 交通量と混雑度の変化

資料：交通量：道路交通センサス

混雑度：佐賀国道事務所調査結果

(2) 事業の効果・必要性

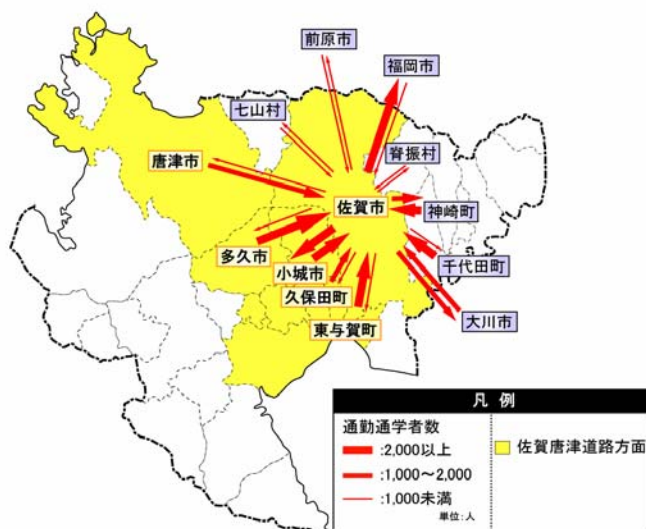
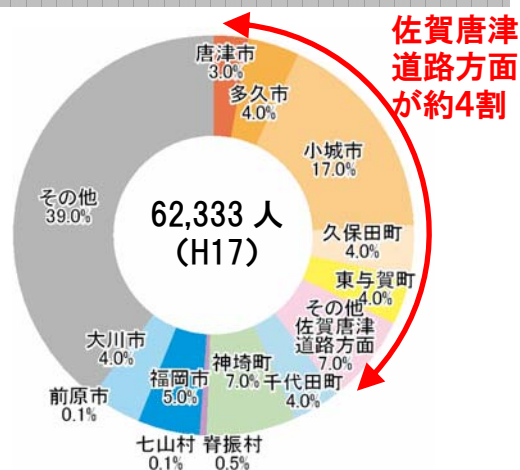
効果 1: 地域間の交流・連携の支援

- 周辺市町村から佐賀市に流入する通勤通学者の約 4 割が、佐賀唐津道路方面からであり、当該方面からの通勤通学者数は増加している。
- 多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備により、沿線都市間の所要時間が短縮し、地域間交流の活性化が期待される。

周辺市町村から佐賀市に流入・流出する通勤通学者数（H17）は、約 62,300 人であり、このうち約 4 割が多久佐賀道路（Ⅰ期）を含む佐賀唐津道路方面（唐津市、多久市、小城市等）となっている。

また、佐賀市～佐賀唐津道路方面間の通勤通学者数は年々増加しており、結びつきが強まる状況にある。

多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備により、多久市～佐賀市間は約 8 分短縮し、地域間交流の活性化が期待される。

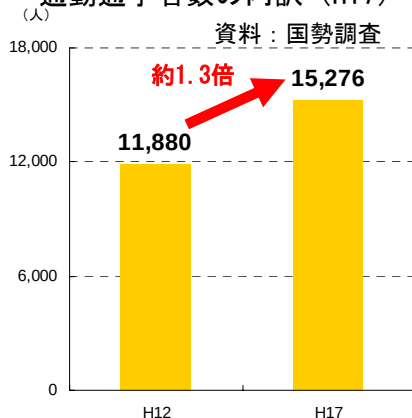


※統計年次の市町村で集計

▲佐賀市に関する通勤通学流動（H17）

資料：国勢調査

▲佐賀市に流入する通勤通学者数の内訳（H17）

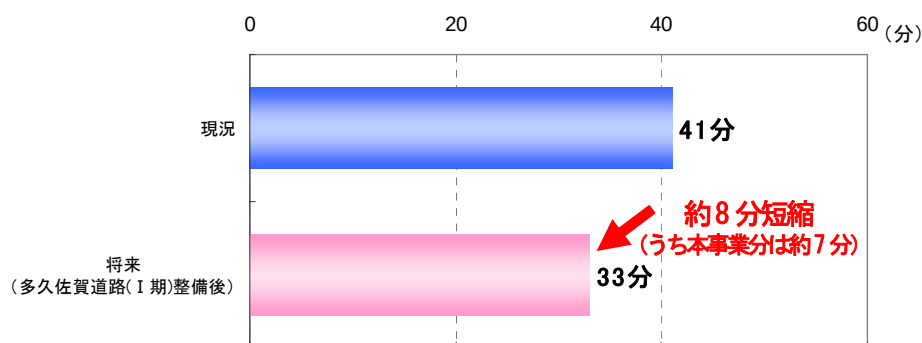


※H17. 10. 1 時点の市町村で集計

※H22 国勢調査（従業地・通学地集計結果）は H24. 6 月公表予定のため、H12、H17 国勢調査で整理した。

▲佐賀市～佐賀唐津道路方面の通勤通学者数の推移

資料：国勢調査



▲多久市～佐賀市の所要時間の変化

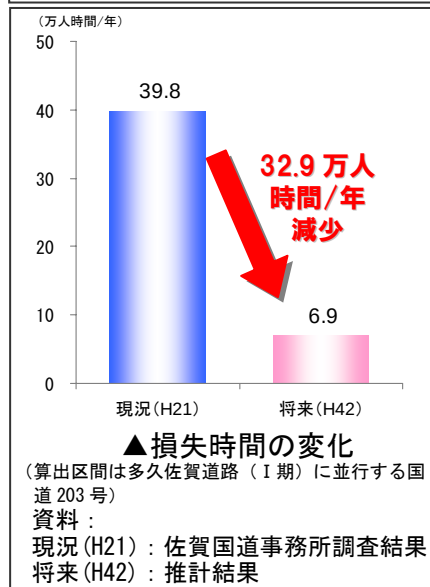
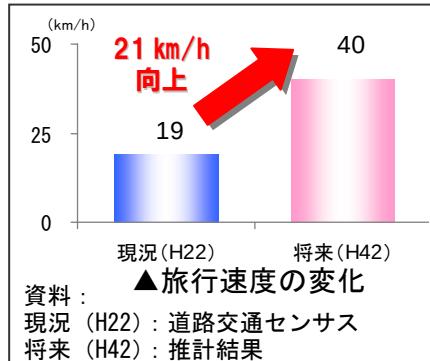
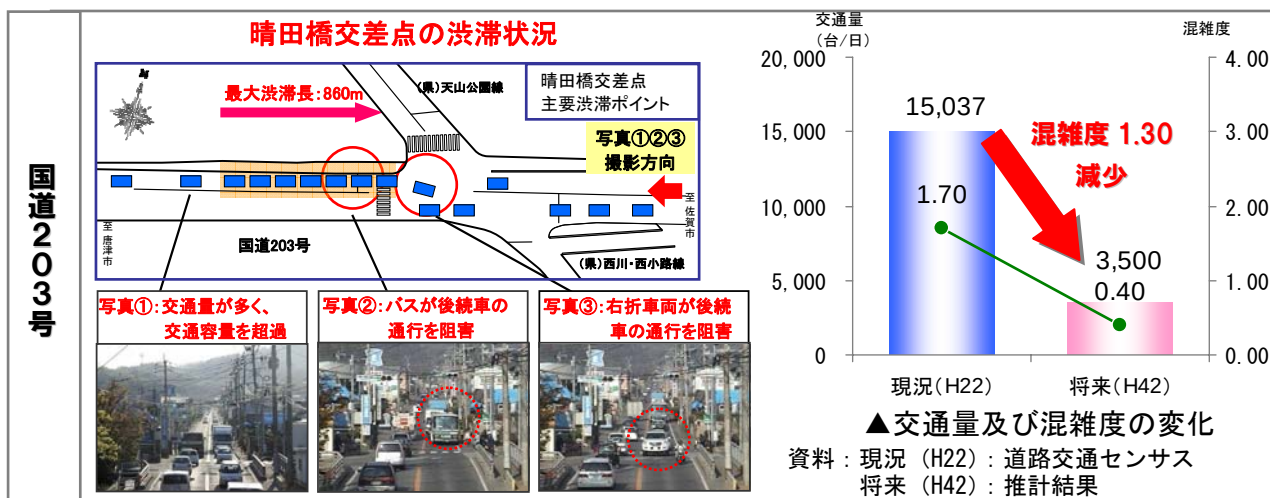
資料：現況（H22）：道路交通センサス
将来（H42）：推計結果

効果 2: 交通混雑の緩和

- 国道 203 号は唐津市～佐賀市を結ぶ唯一の幹線道路であり、多久佐賀道路（I 期）の区間では混雑度 1.70 と、交通混雑が著しい。
- 多久佐賀道路（I 期）の整備により、国道 203 号は交通量転換による交通混雑の緩和が期待される。

国道 203 号は唐津市～佐賀市を結ぶ唯一の幹線道路であり、多久佐賀道路（I 期）区間に並行する国道 203 号では、交通量が多く交通容量を超過、右折車両が後続車を阻害し、依然として混雑度が 1.70 と高い水準となっている。

多久佐賀道路（I 期）整備により、国道 203 号の交通が当該道路へと転換し混雑度が 0.40 となり交通混雑の緩和が期待される。



● 地域の声 (小城市役所<小城支所>)

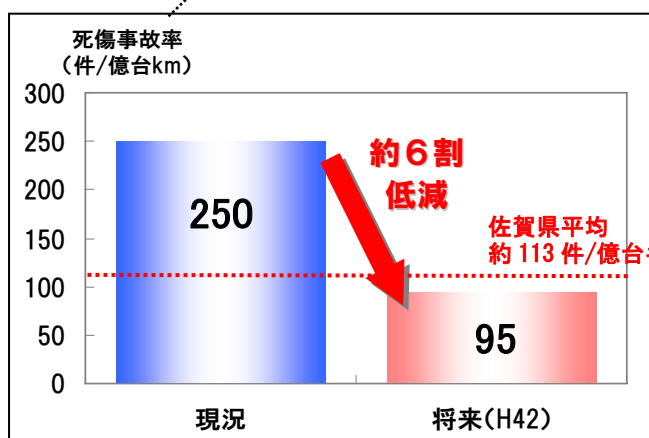
唐津市方面と佐賀市方面を結ぶ主要な道路が、国道 203 号の 1 本しかなく、国道 203 号は、通勤時間帯、常に渋滞しているので出勤時には渋滞を見越して早く出発している。多久佐賀道路ができれば、203 号の渋滞解消に繋がるのではと思われる。

効果3:交通安全性の向上

- 多久佐賀道路（Ⅰ期）に並行する国道 203 号の死傷事故率は、佐賀県平均の約 2 倍以上であり、安全性が低い。
- 多久佐賀道路（Ⅰ期）が整備されることで、走行性の高い多久佐賀道路（Ⅰ期）に交通が転換し、国道 203 号の安全性向上が期待される。

佐賀県の平均死傷事故率は約 113 件/億台キロであるのに対し、多久佐賀道路（Ⅰ期）に並行する国道 203 号は約 250 件/億台キロと高く、安全性が低い。

多久佐賀道路（Ⅰ期）が整備されることで、当該区間を走行する通過交通が、走行性の高い多久佐賀道路（Ⅰ期）に転換し、追突事故や出会い頭事故の減少が見込まれることで死傷事故率が 250 件/億台キロから 95 件/億台キロに減少し、安全性向上が期待される。



※将来は多久佐賀道路（Ⅰ期）が完成 4 車線時

▲死傷事故率の変化

資料：現況：(H18-H21)事故統合データベース、将来：(H42)推計結果

国道203号における事故の状況



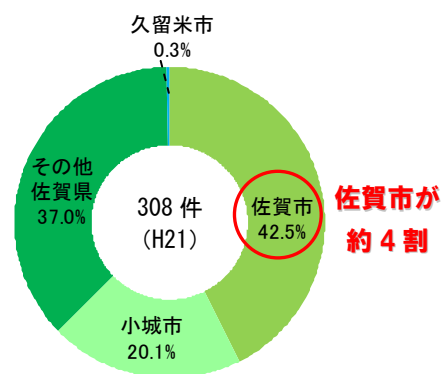
効果4:救急医療活動の支援

- 多久消防署管内からの管外搬送件数は佐賀市が約4割と最も多い。
- 多久佐賀道路（Ⅰ期）を含む佐賀唐津道路の整備により、多久市から佐賀大学医学部附属病院への所要時間が短縮し、救急医療の支援に大きく寄与する。

多久消防署管内から佐賀市への搬送先は、第3次救急医療施設（佐賀大学医学部附属病院、佐賀県立病院好生館）が立地している佐賀市が最も多く、管外搬送の約4割（H21年）を占めている。

しかし、佐賀市への救急搬送経路となる道路は、国道203号には、主要渋滞ポイントが存在しており、救急医療を支える路線としての機能を阻害している状況にある。

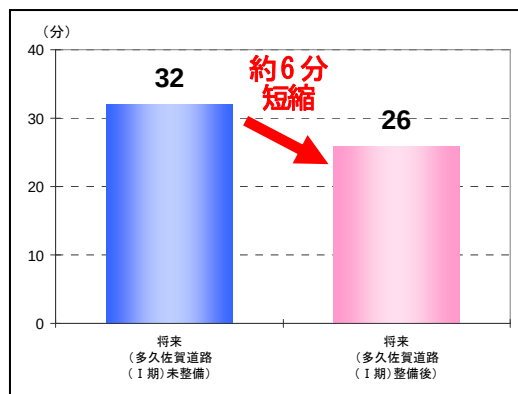
多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備をすることにより、緊急時の信頼性の高い道路ネットワークが構築されるとともに、多久市～佐賀大学医学部附属病院間の所要時間が約6分短縮（約32分⇒約26分）し、救急医療の支援に大きく寄与することが期待される。



▲搬送先別管外搬送先と搬送件数の構成
資料：多久消防署資料



▲多久市から佐賀市方面への搬送経路と搬送時間の変化

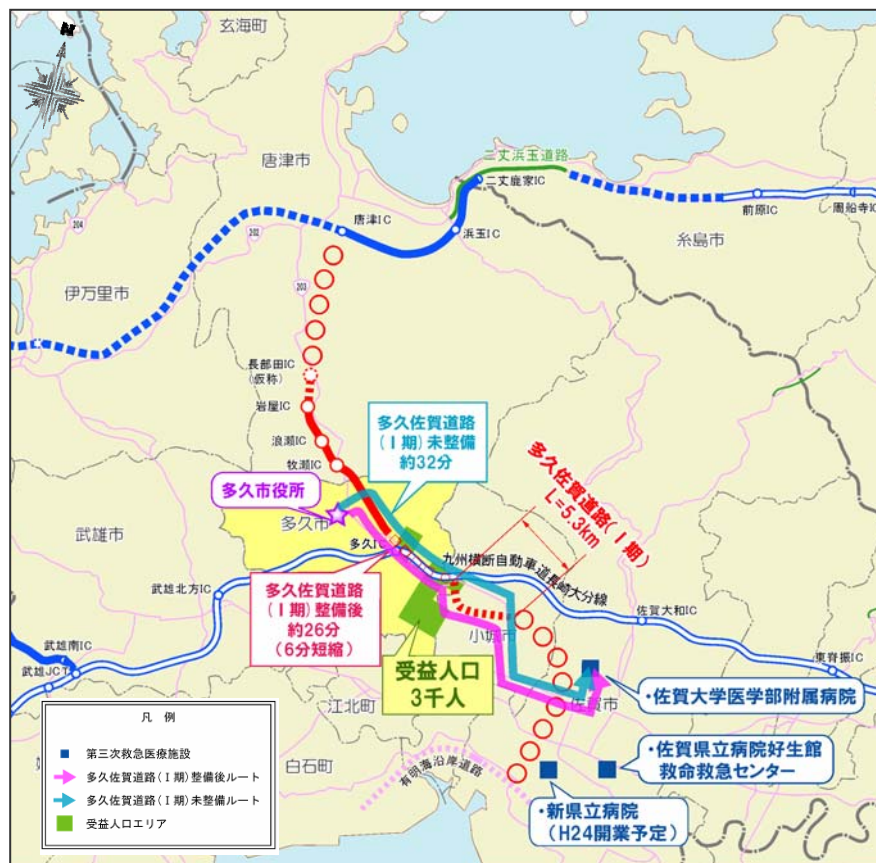


▲多久市～佐賀大学医学部附属病院間の所要時間の変化

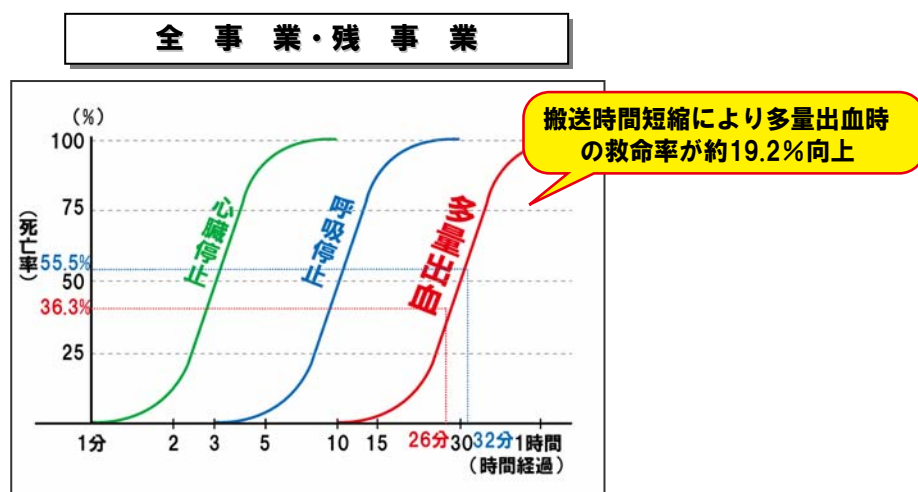
資料：将来（H42）：推計結果

■救急医療活動のアクセス向上

- 多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備による「消防署から現場」、「現場から高次医療施設」への搬送時間の短縮により救われる人命価値が考えられる。
- 多久市役所付近の現場から佐賀大学医学部附属病院までの搬送時間が、多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備により、約6短縮（約32分⇒約26分）され、多量出血時の救命率が約19.2%向上する。



▲対象地域図（H42）



▲多久市～佐賀大学医学部附属病院間の多量出血時の死亡率（H42）

所要時間短縮による救急医療活動のアクセス向上便益は、全事業、残事業ともに※約3億円と試算される。

※は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

(3) 事業の投資効果

①事業の目的

多久佐賀道路（Ⅰ期）は唐津市と佐賀市の広域的な交流、連携を支えるとともに物流支援、交通混雑の緩和に寄与する道路である。

②費用便益分析結果（残事業）

1) 便 益

項 目	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 23 年度			
供用年	平成 39 年度			
初年便益	16 億円	1.7 億円	1.3 億円	19 億円
基準年における現在価値(B)	237 億円	20 億円	19 億円	276 億円

2) 費 用

項 目	事 業 費	維持管理費	合計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	261 億円	58 億円	318 億円
基準年における現在価値(C)	168 億円	13 億円	181 億円

3) 評価指標の算定結果

費用便益比(CBR)	B/C = 1.5
------------	-----------

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

③費用便益分析結果（全事業）

1) 便 益

項 目	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 23 年度			
供用年	平成 39 年度			
初年便益	16 億円	1.7 億円	1.3 億円	19 億円
基準年における現在価値(B)	237 億円	20 億円	19 億円	276 億円

2) 費 用

項 目	事 業 費	維持管理費	合計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	268 億円	58 億円	325 億円
基準年における現在価値(C)	176 億円	13 億円	189 億円

3) 評価指標の算定結果

費用便益比(CBR)	B/C = 1.5
------------	-----------

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

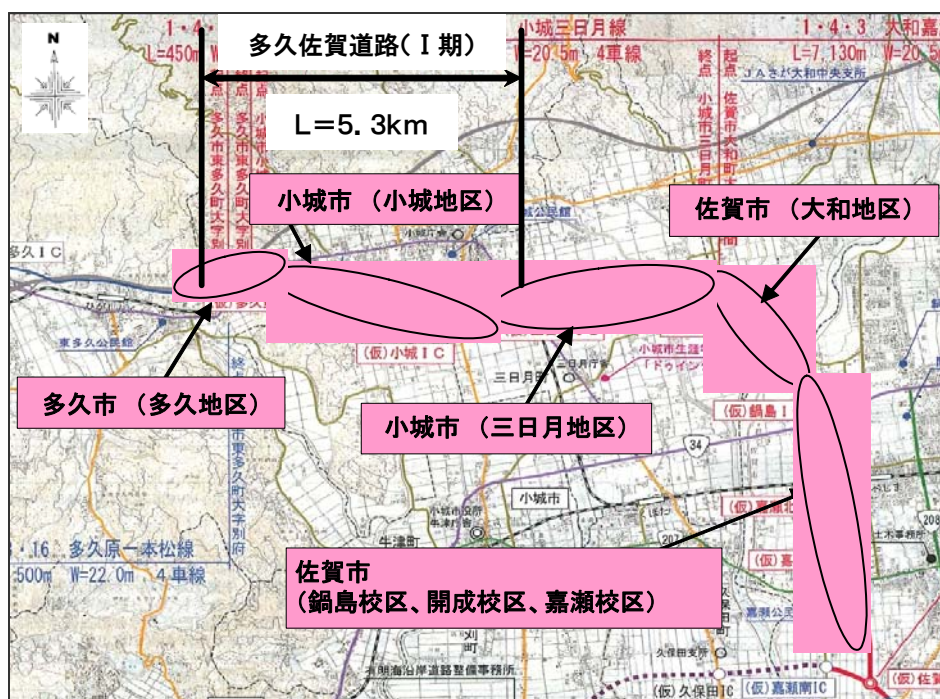
(4) 事業の進捗状況

①事業の経緯

平成 15 年度に着工準備（都計・アセス手続き前に事業化を行う制度）として事業採択し、住民の方と意見交換を行い計画帯を決定した。現在、都市計画決定に向けて地元説明会を行っている。

平成 21 年度から現在まで都市計画原案の地元説明会等を 24 回開催し、5 エリア中 3 エリアで了解が得られている。残り 2 エリアについては、地域分断による過疎化等の意見があるため、平成 23 年度も説明を継続する。平成 24 年度以降は、各種手続きの継続、測量・設計及び用地買収に着手する予定である。

	経 緯
H15	事業採択（着工準備）
H16. 12	佐賀唐津道路意見交換連絡会が設立される（PI の実施） H17. 2 第 1 回意見交換会（事業の説明及び配慮事項の確認） H17. 4～5 周辺住民アンケート、関係団体、関係自治体ヒアリングの実施 H17. 11 第 2 回意見交換会（計画帯に対する地域住民の意見収集）
H17. 12	連絡会より『計画帯への提言書』提出
H18. 4	環境影響評価方法書 公告・縦覧 H18. 5 方法書に対する住民意見の提出 H18. 10 方法書に対する佐賀県知事意見の提出
H19. 1	環境影響評価の調査項目・手法の決定・現地調査の実施
H21・H22・H23	ルート案の検討 関係機関協議（河川管理者、警察、農政局、JR、九電等） 環境影響評価準備書作成中 都市計画原案の地元説明会の開催



②事業費の進捗状況

	全体事業費	H22 年度末進捗	進捗率
事業費	約 280 億円	約 7 億円	約 2%
うち用地及補償費	約 32 億円	0 億円	0%

③前回の評価時との比較

		前回評価（H19年度）	今回評価（H23年度）
延長		5.3km	5.3km
将来交通量		34,600～34,900台/日	15,500～21,300台/日
事業費 （現在価値化後）		約280億円 （185億円）	約280億円 （176億円）
B/C	残事業	$3.5 = \left(\frac{693\text{億円}}{197\text{億円}} \right)$	$1.5 = \left(\frac{276\text{億円}}{181\text{億円}} \right)$
	全事業	$3.4 = \left(\frac{693\text{億円}}{202\text{億円}} \right)$	$1.5 = \left(\frac{276\text{億円}}{189\text{億円}} \right)$

3. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

多久佐賀道路（Ⅰ期）の平成22年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約2%である。

今後は、事業効果を早期発現できるよう、用地買収着手、工事着手に向けて事業進捗を図っていく。

(2) 地域の協力体制

事業推進にあたっては、地元や関係機関との協力体制も確立しており、円滑な事業執行が可能である。

●期成会等

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
国道203号 佐賀・唐津幹線道路 整備促進期成会 会長：佐賀県知事 ※平成18年度からは唐津市長	佐賀県、佐賀市、唐津市、多久市 小城市、久保田町、玄海町、大和町（～H17） 小城町・三日月町・牛津町・浜玉町・七山村・厳木町・相知町・北波多村・肥前町・鎮西町・呼子町（～H16）	（要望活動） H14.5 H14.9 H15.6 H15.11 H16.6 H16.11 H17.6 H17.11 H18 H19 H20 H21 H22 H23
国道203号 バイパス多久・佐賀間 整備促進期成会 会長：小城市長	小城市、佐賀市、多久市、大和町（～H17） 小城商工会議所、佐賀商工会議所 多久市商工会、大和町商工会 佐城農協、佐賀市農協 佐賀市中央農協、小城町（～H16） 三日月町（～H16）	（要望活動） H14.7 H14.7 H15.9 H15.9 H17.9 H17.9 H18 H19 H20 H21 H22

●協力体制

組 織 名	業 務 内 容
小城市建設部都市整備推進室 まちづくり推進係	佐賀唐津道路・多久佐賀道路（Ⅰ期）における小城市関係地区の説明会に伴う地元自治会との調整、事業に関する地元問い合わせ窓口等

(3) 環境・景観への取り組み状況

○環境への取り組み状況

本事業の実施区域及びその周辺地域において「佐賀県レッドリスト（平成16年）」に掲載されているバイカイカリソウ等が確認された。

現地調査にて確認された重要な種を対象に環境影響検討を行い、影響予測及び環境保全措置の内容について専門家からなる「佐賀唐津道路（多久市～佐賀市）環境影響評価技術検討委員会」に諮問し、了解を得ている。

なお、特に環境影響が懸念されるバイカイカリソウについては、環境保全措置として「移植」を実施する。また、具体的な保全手法は専門家の助言を受けた上で対応することとしている。更に、その他の重要種についても、事業実施段階において植物の生育状況について適切に把握し、可能な限り保全する。



○景観への取り組み状況

地域の景観特性を踏まえて環境影響検討を行い、影響予測及び環境保全措置の内容について専門家からなる「佐賀唐津道路（多久市～佐賀市）環境影響評価技術検討委員会」に諮問し、了解を得ている。

地域の主要な眺望景観への環境保全措置として、「盛土部の法面の緑化」、「構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩等の検討」を実施し、周辺景観との調和を図る。



4. コスト縮減や代替案立案等

○コスト縮減

- ・事業の実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用等により着実なコスト縮減を図る。

○代替案立案

- ・多久佐賀道路（Ⅰ期）は、唐津市と佐賀市を結ぶ広域ネットワークの一部を形成するとともに、広域的な交流・連携を支え、物流支援に寄与する事業であることから、現計画が適当である。

5. 対応方針(原案)

〔事業継続〕

多久佐賀道路（Ⅰ期）は広域ネットワークを形成する事により、物流効率化や観光活性化を支援する道路である。

多久佐賀道路（Ⅰ期）の並行区間である国道203号では、慢性的な渋滞が発生しており、多久佐賀道路（Ⅰ期）の整備による交通混雑の緩和により、旅行速度の向上、定時性の確保が図れるなど円滑な交通が確保される。

費用対効果についても、十分高い事業である。

事業進捗率は、事業費ベースで約2%〔約7億円/約280億円〕（平成22年度末）であるが、残り2エリアについても合意に向けて進んでいることから、今後の円滑な事業執行が可能である。

よって、当該事業の完成供用に向けて事業を継続することとしたい。

卷 末 資 料

(再評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道203号 多久佐賀道路（1期）
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ● 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）＝1.5（経済的純現在価値（B-C）＝87億円、経済的内部収益率（EIRR）＝6.0%） 残事業：費用便益比（B/C）＝1.5（経済的純現在価値（B-C）＝95億円、経済的内部収益率（EIRR）＝6.3%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 内滑なモビ リティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b（当該区間/並行区間）について：国道203号並行現道区間（小城市小城町購買～小城市三日月町長神田） 並行区間等の損失時間（現況）： 約4.0万人・時間/年（国道203号） 並行区間等の損失削減率： 約8割削減（国道203号）
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の際切道の除却もしくは交通改善が期待される □ される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	昭和バス（東多久市～佐賀駅）の所要時間短縮、定時性の向上（39分→34分 約5分短縮）
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	多久市～佐賀駅（特急列車：かもめ、みどり）の所要時間短縮（42分→33分 約9分短縮）
物流効率化の支 援	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	多久市～有明佐賀空港の所要時間短縮（56分→48分 約8分短縮）
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	佐賀市・小城市～唐津港（重要港湾）への所要時間短縮（佐賀市～唐津港：90分→75分 約15分短縮）（小城市～唐津港：63分→55分 約8分短縮）
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農林水産業を主体とする地域の特産品の主な品目（佐賀県のハウスみかん 出荷量全国1位）（唐津市のみかん 出荷量県内1位）
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		☐ 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり	
		☐ 中心市街地内で行う事業である	
		☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		☐ D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		☐ 対象区画が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り	
		☒ 地域高規格道路の位置づけあり	佐賀唐津道路
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☒ 当該路線が隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	日常生活圏中心都市(佐賀市～唐津市)への所要時間短縮(85分→70分 約15分短縮)
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☒ 日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	多久市～日常生活圏中心都市(佐賀市)への所要時間短縮(41分→33分 約8分短縮)
		☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	多久10～佐賀市(佐賀インターナショナルバルーンフェスタ)へのアクセス向上(25分→16分 約9分短縮)
		☐ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		☐ 特別立法に基づく事業である	
	個性ある地域の形成	☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
		☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
		☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史的景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	多久市(多久市役所)～第三次医療施設(佐賀大学医学部付属病院)間の搬送時間の短縮(約32分→26分 約6分短縮)
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成		
	無電柱化による美しい町並みの形成		
	安全で安心で暮らしの確保		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道203号	多久佐賀道路 (Ⅰ期)	5.3 km	地域高規格	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,500～21,300	4	九州地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成23年度		
単純合計	268億円	58億円	325億円
うち残事業分	261億円	58億円	318億円
基準年における 現在価値 (C)	176億円	13億円	189億円
うち残事業分	168億円	13億円	181億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成23年度			
供 用 年	平成39年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	1.7億円	1.3億円	19億円
基準年における 現在価値 (B)	237億円	20億円	19億円	276億円
うち残事業分	237億円	20億円	19億円	276億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	87億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.0%
費用便益比（残事業）	1.5
経済的純現在価値（残事業）	95億円
経済的内部収益率（残事業）	6.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	15,500～21,300	± 10%	1.3 ～ 1.7
事業費	261億円	± 10%	1.4 ～ 1.7
事業期間	18年	± 20%	1.3 ～ 1.7

交通状況の変化

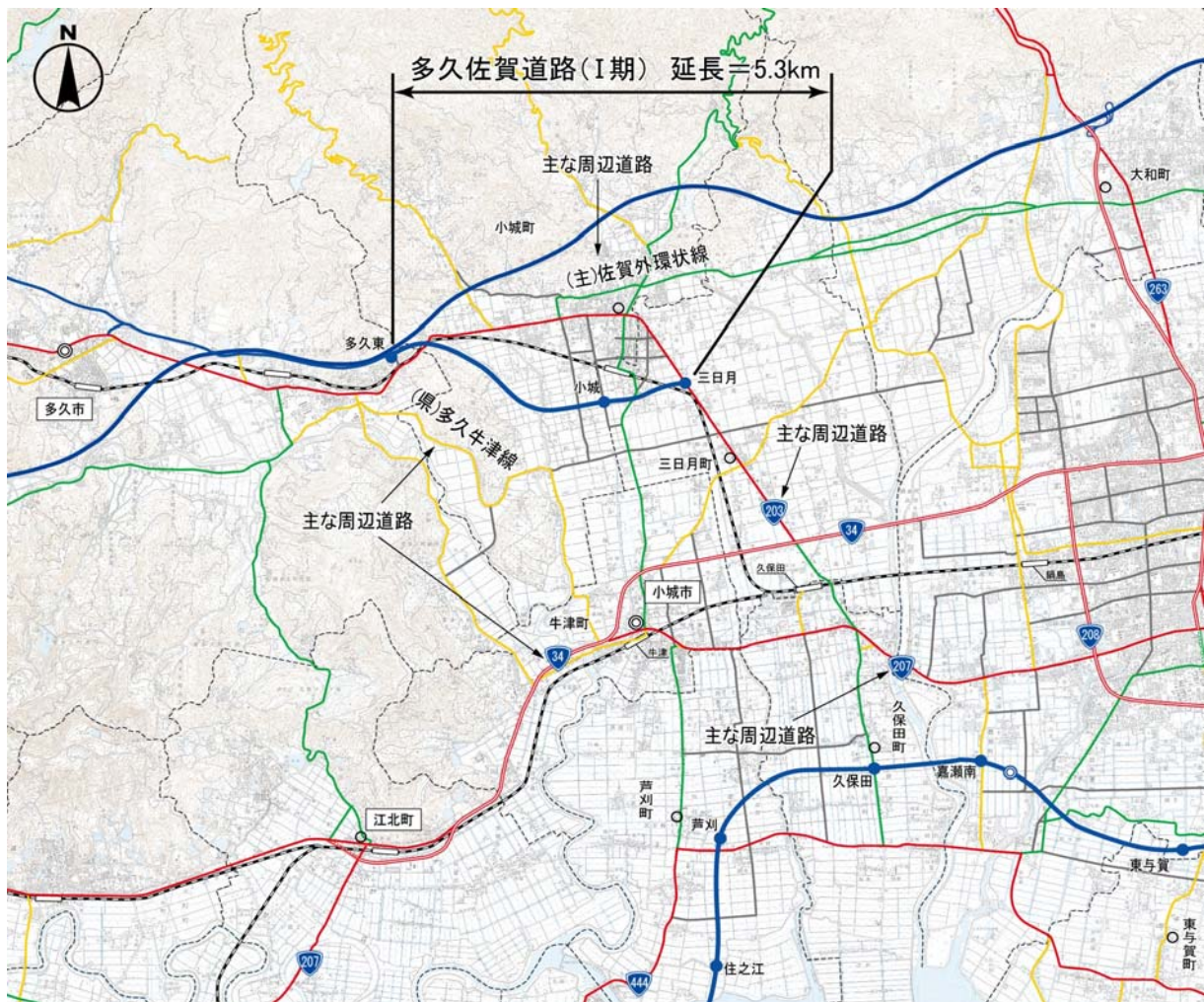
様式－3①

事業名：国道203号 多久佐賀道路（Ⅰ期）

（推計時点 H42年）（事業全体・残事業）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 多久佐賀道路 (Ⅰ期) : 5.3km		交通量	[台/日]	0.00	19,700
		走行時間	[分]	0.00	4.0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	14
②主な周辺道路	現道 (国道203号) : 4.9km	交通量	[台/日]	17,400	7,800
		走行時間	[分]	10	7.7
		走行時間費用	[億円/年]	31	11
	国道34号 : 5.0km	交通量	[台/日]	25,200	23,000
		走行時間	[分]	7.3	7.1
		走行時間費用	[億円/年]	33	29
	県_多久 牛津線 : 6.8km	交通量	[台/日]	2,600	1,000
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	5.4	2.0
	国道207号 : 3.5km	交通量	[台/日]	12,200	11,500
		走行時間	[分]	5.7	5.6
		走行時間費用	[億円/年]	12	11
	主_佐賀 外環状線 : 4.8km	交通量	[台/日]	11,200	10,400
		走行時間	[分]	8.8	8.5
		走行時間費用	[億円/年]	17	15
③その他道路合計 : 1659.3km		走行時間費用	[億円/年]	2,609	2,603

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1689.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,708	2,685	23



費用便益分析の条件

事業名：国道203号 多久佐賀道路（Ⅰ期）

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成23年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐ ()	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐	
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混 在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加 重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

(3)

便益の算定

事業名：国道203号 多久佐賀道路（Ⅰ期）

（４）

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他（ ）	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費（過去3年間：H19～H21）に基づく	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)	
				0.23	5.3	1.24	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-24年目	H 15	1.3686	95.4	0.48	0.61		
-23年目	H 16	1.3159	94.4	0.48	0.60		
-22年目	H 17	1.2653	93.2	0.48	0.58		
-21年目	H 18	1.2167	92.5	1.43	1.69		
-20年目	H 19	1.1699	91.7	1.90	2.19		
-19年目	H 20	1.1249	91.2	0.56	0.62		
-18年目	H 21	1.0816	90.0	0.23	0.25		
-17年目	H 22	1.0400	90.0	0.71	0.74		
-16年目	H 23	1.0000	90.0	0.71	0.71		
-15年目	H 24	0.9615	90.0	0.29	0.27		
-14年目	H 25	0.9246	90.0	0.99	0.91		
-13年目	H 26	0.8890	90.0	2.90	2.58		
-12年目	H 27	0.8548	90.0	4.81	4.11		
-11年目	H 28	0.8219	90.0	6.76	5.56		
-10年目	H 29	0.7903	90.0	11.52	9.11		
-9年目	H 30	0.7599	90.0	16.76	12.74		
-8年目	H 31	0.7307	90.0	16.81	12.28		
-7年目	H 32	0.7026	90.0	23.95	16.83		
-6年目	H 33	0.6756	90.0	23.95	16.18		
-5年目	H 34	0.6496	90.0	23.90	15.52		
-4年目	H 35	0.6246	90.0	23.81	14.87		
-3年目	H 36	0.6006	90.0	23.81	14.30		
-2年目	H 37	0.5775	90.0	23.81	13.75		
-1年目	H 38	0.5553	90.0	23.35	12.97		
供用開始年次	H 39	0.5339	90.0	11.62	6.20	0.79	0.42
1年目	H 40	0.5134	90.0	11.62	5.97	0.79	0.41
2年目	H 41	0.4936	90.0	9.95	4.91	0.79	0.39
3年目	H 42	0.4746	90.0			1.18	0.56
4年目	H 43	0.4564	90.0			1.18	0.54
5年目	H 44	0.4388	90.0			1.18	0.52
6年目	H 45	0.4220	90.0			1.18	0.50
7年目	H 46	0.4057	90.0			1.18	0.48
8年目	H 47	0.3901	90.0			1.18	0.46
9年目	H 48	0.3751	90.0			1.18	0.44
10年目	H 49	0.3607	90.0			1.18	0.43
11年目	H 50	0.3468	90.0			1.18	0.41
12年目	H 51	0.3335	90.0			1.18	0.39
13年目	H 52	0.3207	90.0			1.18	0.38
14年目	H 53	0.3083	90.0			1.18	0.36
15年目	H 54	0.2965	90.0			1.18	0.35
16年目	H 55	0.2851	90.0			1.18	0.34
17年目	H 56	0.2741	90.0			1.18	0.32
18年目	H 57	0.2636	90.0			1.18	0.31
19年目	H 58	0.2534	90.0			1.18	0.30
20年目	H 59	0.2437	90.0			1.18	0.29
21年目	H 60	0.2343	90.0			1.18	0.28
22年目	H 61	0.2253	90.0			1.18	0.27
23年目	H 62	0.2166	90.0			1.18	0.26
24年目	H 63	0.2083	90.0			1.18	0.25
25年目	H 64	0.2003	90.0			1.18	0.24
26年目	H 65	0.1926	90.0			1.18	0.23
27年目	H 66	0.1852	90.0			1.18	0.22
28年目	H 67	0.1780	90.0			1.18	0.21
29年目	H 68	0.1712	90.0			1.18	0.20
30年目	H 69	0.1646	90.0			1.18	0.19
31年目	H 70	0.1583	90.0			1.18	0.19
32年目	H 71	0.1522	90.0			1.18	0.18
33年目	H 72	0.1463	90.0			1.18	0.17
34年目	H 73	0.1407	90.0			1.18	0.17
35年目	H 74	0.1353	90.0			1.18	0.16
36年目	H 75	0.1301	90.0			1.18	0.15
37年目	H 76	0.1251	90.0			1.18	0.15
38年目	H 77	0.1203	90.0			1.18	0.14
39年目	H 78	0.1157	90.0			1.18	0.14
40年目	H 79	0.1112	90.0			1.18	0.13
41年目	H 80	0.1069	90.0			1.18	0.13
42年目	H 81	0.1028	90.0			1.18	0.12
43年目	H 82	0.0989	90.0			1.18	0.12
44年目	H 83	0.0951	90.0			1.18	0.11
45年目	H 84	0.0914	90.0			1.18	0.11
46年目	H 85	0.0879	90.0			1.18	0.10
47年目	H 86	0.0845	90.0			1.18	0.10
48年目	H 87	0.0813	90.0			1.18	0.10
49年目	H 88	0.0781	90.0	-19.60	-1.53	1.18	0.09
合 計				248.00	175.54	57.88	13.49
単純事業費計				267.60		57.88	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)(残事業)

箇所名: 国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)(残事業)				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
				0.23		5.3	1.24
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-15年目	H 24	0.9615	90.0	0.29	0.27		
-14年目	H 25	0.9246	90.0	0.99	0.91		
-13年目	H 26	0.8890	90.0	2.90	2.58		
-12年目	H 27	0.8548	90.0	4.81	4.11		
-11年目	H 28	0.8219	90.0	6.76	5.56		
-10年目	H 29	0.7903	90.0	11.52	9.11		
-9年目	H 30	0.7599	90.0	16.76	12.74		
-8年目	H 31	0.7307	90.0	16.81	12.28		
-7年目	H 32	0.7026	90.0	23.95	16.83		
-6年目	H 33	0.6756	90.0	23.95	16.18		
-5年目	H 34	0.6496	90.0	23.90	15.52		
-4年目	H 35	0.6246	90.0	23.81	14.87		
-3年目	H 36	0.6006	90.0	23.81	14.30		
-2年目	H 37	0.5775	90.0	23.81	13.75		
-1年目	H 38	0.5553	90.0	23.35	12.97		
供用開始年次	H 39	0.5339	90.0	11.62	6.20	0.79	0.42
1年目	H 40	0.5134	90.0	11.62	5.97	0.79	0.41
2年目	H 41	0.4936	90.0	9.95	4.91	0.79	0.39
3年目	H 42	0.4746	90.0			1.18	0.56
4年目	H 43	0.4564	90.0			1.18	0.54
5年目	H 44	0.4388	90.0			1.18	0.52
6年目	H 45	0.4220	90.0			1.18	0.50
7年目	H 46	0.4057	90.0			1.18	0.48
8年目	H 47	0.3901	90.0			1.18	0.46
9年目	H 48	0.3751	90.0			1.18	0.44
10年目	H 49	0.3607	90.0			1.18	0.43
11年目	H 50	0.3468	90.0			1.18	0.41
12年目	H 51	0.3335	90.0			1.18	0.39
13年目	H 52	0.3207	90.0			1.18	0.38
14年目	H 53	0.3083	90.0			1.18	0.36
15年目	H 54	0.2965	90.0			1.18	0.35
16年目	H 55	0.2851	90.0			1.18	0.34
17年目	H 56	0.2741	90.0			1.18	0.32
18年目	H 57	0.2636	90.0			1.18	0.31
19年目	H 58	0.2534	90.0			1.18	0.30
20年目	H 59	0.2437	90.0			1.18	0.29
21年目	H 60	0.2343	90.0			1.18	0.28
22年目	H 61	0.2253	90.0			1.18	0.27
23年目	H 62	0.2166	90.0			1.18	0.26
24年目	H 63	0.2083	90.0			1.18	0.25
25年目	H 64	0.2003	90.0			1.18	0.24
26年目	H 65	0.1926	90.0			1.18	0.23
27年目	H 66	0.1852	90.0			1.18	0.22
28年目	H 67	0.1780	90.0			1.18	0.21
29年目	H 68	0.1712	90.0			1.18	0.20
30年目	H 69	0.1646	90.0			1.18	0.19
31年目	H 70	0.1583	90.0			1.18	0.19
32年目	H 71	0.1522	90.0			1.18	0.18
33年目	H 72	0.1463	90.0			1.18	0.17
34年目	H 73	0.1407	90.0			1.18	0.17
35年目	H 74	0.1353	90.0			1.18	0.16
36年目	H 75	0.1301	90.0			1.18	0.15
37年目	H 76	0.1251	90.0			1.18	0.15
38年目	H 77	0.1203	90.0			1.18	0.14
39年目	H 78	0.1157	90.0			1.18	0.14
40年目	H 79	0.1112	90.0			1.18	0.13
41年目	H 80	0.1069	90.0			1.18	0.13
42年目	H 81	0.1028	90.0			1.18	0.12
43年目	H 82	0.0989	90.0			1.18	0.12
44年目	H 83	0.0951	90.0			1.18	0.11
45年目	H 84	0.0914	90.0			1.18	0.11
46年目	H 85	0.0879	90.0			1.18	0.10
47年目	H 86	0.0845	90.0			1.18	0.10
48年目	H 87	0.0813	90.0			1.18	0.10
49年目	H 88	0.0781	90.0	-19.60	-1.53	1.18	0.09
合 計				241.02	167.54	57.88	13.49
単純事業費計				260.62		57.88	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:国道203号 多久佐賀道路(1期)(事業全体・残事業)

年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州7道県)				GDP デフレーター	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				現在価値 (A)×(2)		事故減少便益(億円) ③×(A)	合 計 (億円)			
	乗用車種	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)		現在価値 ③×(A)	便益合計 (1)～(3)	割引率4%	
供用開始年次	H 39	0.99808	0.99113	0.99921	0.99702	0.5339	8.33	1.45	2.02	2.13	15.59	8.33	1.32	0.12	0.27	1.71	0.91	1.28	0.68	18.59	9.92
1年目	H 40	0.99808	0.99105	0.99921	0.99701	0.5134	8.00	11.42	2.01	2.12	15.55	7.99	1.32	0.12	0.27	1.71	0.88	1.28	0.66	18.54	9.53
2年目	H 41	0.99808	0.99097	0.99921	0.99700	0.4936	8.00	11.40	1.99	2.12	15.51	7.66	1.31	0.12	0.27	1.70	0.84	1.27	0.63	18.49	9.13
3年目	H 42	0.99338	0.99360	1.00074	0.99419	0.4746	9.00	16.60	2.68	3.25	22.53	10.69	1.72	0.10	0.04	1.86	0.88	1.77	0.84	26.16	12.41
4年目	H 43	0.99333	0.99356	1.00074	0.99416	0.4564	9.00	16.49	2.66	3.25	22.41	10.23	1.71	0.10	0.04	1.85	0.84	1.76	0.80	26.01	11.87
5年目	H 44	0.99329	0.99352	1.00074	0.99412	0.4388	9.00	16.38	2.65	3.25	22.28	9.78	1.70	0.10	0.04	1.84	0.81	1.75	0.77	25.87	11.36
6年目	H 45	0.99324	0.99348	1.00074	0.99409	0.4220	9.00	16.27	2.63	3.26	22.16	9.35	1.69	0.10	0.04	1.82	0.77	1.74	0.73	25.72	10.85
7年目	H 46	0.99320	0.99343	1.00074	0.99406	0.4057	9.00	16.16	2.61	3.26	22.03	8.94	1.67	0.10	0.04	1.81	0.74	1.73	0.70	25.57	10.38
8年目	H 47	0.99315	0.99339	1.00074	0.99402	0.3901	9.00	16.05	2.59	3.26	21.91	8.55	1.66	0.10	0.04	1.80	0.70	1.72	0.67	25.43	9.92
9年目	H 48	0.99310	0.99335	1.00074	0.99398	0.3751	9.00	15.94	2.58	3.26	21.78	8.17	1.65	0.10	0.04	1.79	0.67	1.71	0.64	25.28	9.48
10年目	H 49	0.99305	0.99330	1.00074	0.99395	0.3607	9.00	15.83	2.56	3.27	21.66	7.81	1.64	0.10	0.04	1.78	0.64	1.70	0.61	25.13	9.06
11年目	H 50	0.99301	0.99326	1.00074	0.99391	0.3468	9.00	15.72	2.54	3.27	21.53	7.47	1.63	0.10	0.04	1.76	0.61	1.69	0.59	24.98	8.67
12年目	H 51	0.99296	0.99321	1.00074	0.99387	0.3335	9.00	15.61	2.53	3.27	21.41	7.14	1.62	0.09	0.04	1.75	0.58	1.68	0.56	24.84	8.28
13年目	H 52	0.99291	0.99316	1.00074	0.99384	0.3207	9.00	15.50	2.51	3.27	21.28	6.83	1.61	0.09	0.04	1.74	0.56	1.67	0.53	24.69	7.92
14年目	H 53	0.99286	0.99312	1.00074	0.99380	0.3083	9.00	15.39	2.49	3.28	21.16	6.52	1.59	0.09	0.04	1.73	0.53	1.66	0.51	24.54	7.56
15年目	H 54	0.99280	0.99307	1.00074	0.99376	0.2965	9.00	15.28	2.47	3.28	21.03	6.24	1.58	0.09	0.04	1.72	0.51	1.65	0.49	24.40	7.24
16年目	H 55	0.99275	0.99302	1.00074	0.99372	0.2851	9.00	15.17	2.46	3.28	20.91	5.96	1.57	0.09	0.04	1.70	0.49	1.64	0.47	24.25	6.92
17年目	H 56	0.99270	0.99297	1.00074	0.99368	0.2741	9.00	15.06	2.44	3.28	20.78	5.70	1.56	0.09	0.04	1.69	0.46	1.63	0.45	24.10	6.61
18年目	H 57	0.99265	0.99292	1.00074	0.99364	0.2636	9.00	14.95	2.42	3.29	20.66	5.45	1.55	0.09	0.04	1.68	0.44	1.62	0.43	23.96	6.32
19年目	H 58	0.99259	0.99287	1.00073	0.99360	0.2534	9.00	14.84	2.41	3.29	20.54	5.20	1.54	0.09	0.04	1.67	0.42	1.61	0.41	23.81	6.03
20年目	H 59	0.99254	0.99282	1.00073	0.99356	0.2437	9.00	14.73	2.39	3.29	20.41	4.97	1.53	0.09	0.04	1.66	0.40	1.59	0.39	23.66	5.76
21年目	H 60	0.99248	0.99277	1.00073	0.99352	0.2343	9.00	14.62	2.37	3.29	20.29	4.75	1.51	0.09	0.04	1.64	0.39	1.58	0.37	23.51	5.51
22年目	H 61	0.99242	0.99272	1.00073	0.99347	0.2253	9.00	14.51	2.35	3.30	20.16	4.54	1.50	0.09	0.04	1.63	0.37	1.57	0.35	23.37	5.26
23年目	H 62	0.99236	0.99266	1.00073	0.99343	0.2166	9.00	14.40	2.34	3.30	20.04	4.34	1.49	0.09	0.04	1.62	0.35	1.56	0.34	23.22	5.03
24年目	H 63	0.99231	0.99261	1.00073	0.99339	0.2083	9.00	14.29	2.32	3.30	19.91	4.15	1.48	0.09	0.04	1.61	0.33	1.55	0.32	23.07	4.80
25年目	H 64	0.99225	0.99255	1.00073	0.99334	0.2003	9.00	14.18	2.30	3.30	19.79	3.96	1.47	0.09	0.04	1.60	0.32	1.54	0.31	22.93	4.59
26年目	H 65	0.99219	0.99250	1.00073	0.99330	0.1926	9.00	14.07	2.29	3.31	19.66	3.79	1.46	0.09	0.04	1.58	0.31	1.53	0.30	22.78	4.40
27年目	H 66	0.99212	0.99244	1.00073	0.99325	0.1852	9.00	13.96	2.27	3.31	19.54	3.62	1.45	0.09	0.04	1.57	0.29	1.52	0.28	22.63	4.19
28年目	H 67	0.99206	0.99238	1.00073	0.99321	0.1780	9.00	13.85	2.25	3.31	19.41	3.46	1.44	0.09	0.04	1.56	0.28	1.51	0.27	22.49	4.01
29年目	H 68	0.99200	0.99232	1.00073	0.99316	0.1712	9.00	13.74	2.23	3.31	19.29	3.30	1.42	0.08	0.04	1.55	0.27	1.50	0.26	22.34	3.83
30年目	H 69	0.99193	0.99227	1.00073	0.99312	0.1646	9.00	13.63	2.22	3.31	19.16	3.15	1.41	0.08	0.04	1.54	0.25	1.49	0.25	22.19	3.65
31年目	H 70	0.99187	0.99220	1.00073	0.99307	0.1583	9.00	13.52	2.20	3.32	19.04	3.01	1.40	0.08	0.04	1.52	0.24	1.48	0.23	22.04	3.48
32年目	H 71	0.99180	0.99214	1.00073	0.99302	0.1522	9.00	13.41	2.18	3.32	18.91	2.88	1.39	0.08	0.04	1.51	0.23	1.47	0.22	21.90	3.33
33年目	H 72	0.99173	0.99208	1.00073	0.99297	0.1463	9.00	13.30	2.17	3.32	18.79	2.75	1.38	0.08	0.04	1.50	0.22	1.46	0.21	21.75	3.18
34年目	H 73	0.99166	0.99202	1.00073	0.99292	0.1407	9.00	13.19	2.15	3.32	18.66	2.63	1.37	0.08	0.04	1.49	0.21	1.45	0.20	21.60	3.04
35年目	H 74	0.99159	0.99195	1.00073	0.99287	0.1353	9.00	13.08	2.13	3.33	18.54	2.51	1.36	0.08	0.04	1.48	0.20	1.44	0.19	21.46	2.90
36年目	H 75	0.99152	0.99189	1.00073	0.99282	0.1301	9.00	12.97	2.11	3.33	18.41	2.40	1.34	0.08	0.04	1.46	0.19	1.43	0.19	21.31	2.78
37年目	H 76	0.99145	0.99182	1.00073	0.99277	0.1251	9.00	12.86	2.10	3.33	18.29	2.29	1.33	0.08	0.04	1.45	0.18	1.42	0.18	21.16	2.65
38年目	H 77	0.99138	0.99175	1.00072	0.99271	0.1203	9.00	12.75	2.08	3.33	18.17	2.19	1.32	0.08	0.04	1.44	0.17	1.41	0.17	21.01	2.53
39年目	H 78	0.99130	0.99169	1.00072	0.99266	0.1157	9.00	12.64	2.06	3.34	18.04	2.09	1.31	0.08	0.04	1.43	0.17	1.40	0.16	20.87	2.42
40年目	H 79	0.99123	0.99162	1.00072	0.99261	0.1112	9.00	12.53	2.05	3.34	17.92	1.99	1.30	0.08	0.04	1.42	0.16	1.39	0.15	20.72	2.30
41年目	H 80	0.99115	0.99155	1.00072	0.99255	0.1069	9.00	12.42	2.03	3.34	17.79	1.90	1.29	0.08	0.04	1.40	0.15	1.38	0.15	20.57	2.20
42年目	H 81	0.99107	0.99147	1.00072	0.99250	0.1028	9.00	12.31	2.01	3.34	17.67	1.82	1.28	0.08	0.04	1.39	0.14	1.37	0.14	20.43	2.10
43年目	H 82	0.99099	0.99140	1.00072	0.99244	0.0989	9.00	12.20	1.99	3.35	17.54	1.73	1.26	0.08	0.04	1.38	0.14	1.36	0.13	20.28	2.00
44年目	H 83	0.99091	0.99133	1.00072	0.99238	0.0951	9.00	12.09	1.98	3.35	17.42	1.66	1.25	0.07	0.04	1.37	0.13	1.35	0.13	20.13	1.92
45年目	H 84	0.99082	0.99125	1.00072	0.99232	0.0914	9.00	11.98	1.96	3.35	17.29	1.58	1.24	0.07	0.04	1.36	0.12	1.34	0.12	19.99	1.82
46年目	H 85	0.99074	0.99117	1.00072	0.99226	0.0879	9.00	11.87	1.94	3.35	17.17	1.51	1.23	0.07	0.04	1.34	0.12	1.33	0.12	19.84	1.75
47年目	H 86	0.99065	0.99109	1.00072	0.99220	0.0845	9.00	11.76	1.93	3.36	17.04	1.44	1.22	0.07	0.04	1.33	0.11	1.32	0.11	19.69	1.66
48年目	H 87	0.99056	0.99101	1.00072	0.99214	0.0813	9.00	11.65	1.91	3.36	16.92	1.38	1.21	0.07	0.04	1.32	0.11	1.31	0.11	19.54	1.60
49年目	H 88	0.99047	0.99093	1.00072	0.99.																

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道203号	多久佐賀道路(Ⅰ期)	4	5.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					21,968		
	改良費				11,870		
		土工	m3	1,505,622	2,672	切土(798,902㎡)、盛土(706,720㎡)	
		軟弱地盤改良工	m3	68,564	1,591		
		法面工	m2	143,463	6,586	切土法面、盛土法面	
		擁壁工	式				
		管渠工	m				
		函渠工	m	256	313		
		排水工	m	5,470	340		
		中央分離帯工	m	4,585	206		
		雑工	式		161		
	橋梁費				7,278		
		100m以上	m				
		100m未満	m	885	7,278		
	トンネル費						
		NATM	m				
		シールド	m				
	IC・JCT費				1,862		
		IC	箇所	3	1,862	ダイヤモンド(フル2箇所、ハーフ1箇所)	
		JCT	箇所				
	舗装費				690		
		車道舗装	m2	84,823	690		
		歩道舗装	m2				
	付帯施設費				270		
		交通管理施設工	式	1	270	標識工、防護柵工等	
		遮音壁	m				
②用地及補償費					3,240		
	用地費			m2		1,960	
		宅地	m2	14,020	826		
		田畑	m2	119,931	775		
		山林・原野	m2	26,621	16		
		その他	m2	56,385	344		
		補償費	式	1	1,280		
	③間接経費	式	1	2,793	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等		
全体事業費				28,000			

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道203号	多久佐賀道路(Ⅰ期)	4	5.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					21,968	
	改良費				11,870	
		土工	m3	1,505,622	2,672	切土(798,902㎡)、盛土(706,720㎡)
		軟弱地盤改良工	m3	68,564	1,591	
		法面工	m2	143,463	6,586	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式			
		管渠工	m			
		函渠工	m	256	313	
		排水工	m	5,470	340	
		中央分離帯工	m	4,585	206	
	雑工	式		161		
	橋梁費				7,278	
		100m以上	m			
		100m未満	m	885	7,278	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,862	
		IC	箇所	3	1,862	ダイヤモンド(フル2箇所、ハーフ1箇所)
		JCT	箇所			
	舗装費				690	
		車道舗装	m2	84,823	690	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				270	
		交通管理施設工	式		270	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費				3,240		
	用地費	m2		1,960		
		宅地	m2	14,020	826	
		田畑	m2	119,931	775	
		山林・原野	m2	26,621	16	
		その他	m2	56,385	344	
	補償費	式	32	1,280		
③間接経費		式		2,059	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等	
全体事業費				27,267		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全・残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道203号	多久佐賀道路(Ⅰ期)	4	5.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.3	850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,227	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,077	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。